

# アミーゴ通信

2021年7月号

## 2021年度 会員総会

去る6月13日(日)14:00から、事務所よりオンラインにて、会員の皆さま及びサテライト会場を結び定期会員総会が開催されました。

定期総会は、会員の皆様と直接お会いする大切な場でもあり、昨年の書面決議による総会を踏まえて、皆さまと一堂に会することができる機会をと願っておりましたが、コロナ感染症対策における緊急事態宣言もありリモート会議での総会開催となりました。開催にご協力いただき、ありがとうございます。

総会は定款通り定足数を満たし、すべての審議を滞りなく終わりました。新しい団体年度を踏み出せました事、改めましてご報告させていただきます。

当日、新任の理事よりご挨拶をさせていただきましたが、理事体制をお知らせするとともに、新任理事からのご挨拶をさせていただきます。

### 理事紹介

【代表理事】 松本毅、

【理事】 安藤耕司、伊藤由加里、加々見辰也、佐藤文俊、林秀和、古谷健太、森本薫  
以上8名が再任となり、以下2名の理事が新任となりました。

#### ○新任理事 村中生恵

(子どもアミーゴ西東京学童クラブ職員)

今年度から新理事になりました村中生恵です。子どもたちと地域の結び付きはとても大切だと感じています。



西東京市にある子どもアミーゴの学童クラブやひばり児童センターを知ってもらう事で、子どもたちには、ここだけではない、もっとたくさんの居場所があることを知ってもらおう手助けを、理事として考えていけたらと思います。

#### ○新任理事 川杉祐太

(子どもアミーゴ西東京学童クラブ職員)

法人職員として15年在籍し、本年度より新理事になりました。職員として働いてきた経験を活かして、今後も子ども達が日々楽しく安心して過ごせる学童クラブの継続と、卒所後に様々な場所で活躍出来るよう支えていきたいと思えます。



また、経験を持って職員が長く働いて行けるよう、職員の待遇改善もしていけたらと思います。

よろしくお願いいたします。

### 2021年度の主な事業・活動

■受託施設運営事業市内6ヶ所の学童クラブ(北原、向台、向台第二、谷戸、ひばりが丘第一、ひばりが丘第二)、1ヶ所の児童センター(ひばりが丘児童センター)の受託運営を継続します。

### ■だがしや楽校

例年主催している「だがしや楽校」は、社会情勢を踏まえて従来の地域イベントとしての開催は見送りますが、2022年度の再開を目指して準備を進めていきます。プレ企画も計画中です。

### ■自然塾

学童クラブの卒所生を対象として実施してきた野外キャンプ活動「子どもアミーゴ自然塾」も、キャンプ事業としての実施は今年度も見送りますが、同様に今年だからできるプレ企画も含め、2022年度の再開に向けて準備を進めます。

### ■東日本大震災被災地交流事業

2011年より継続している東日本大震災被災地の学童クラブとの交流活動は、内容を先方とも検討し、これまでの「縁」が切れないように続けます。

### ■高学年合宿

学童事業の中で行っている高学年合宿事業は、社会情勢を注視しながら、従来通りのキャンプ事業、それに代わるデイキャンプなど、対象家庭のご意見も伺いながら柔軟に実施内容を検討します。

■第13回 NPO 市民フェスティバル、第10回こそだてフェスタへの参画、西部地域協カネットワークへの参加など、地域の活動に引き続き積極的に関わります。

## 学童クラブ、児童センターの様子

- 各学童クラブでは夏休みに向けた保護者会が開かれています。第一回目の保護者会を4月下旬に開催、夏休み前に第二回目を開催するのが通例ですが、緊急事態宣言によりこの時期に第一回目を開催することとなりました。夏休み前半に各施設で夜の公園を散策する高学年行事「ナイトハイク」を、感染防止に配慮のうえ実施する予定です。
- ひばりが丘児童センターでは、6月の緊急事態宣言解除に伴い、中高生年代のための夜間開館が再開しました。中高生特化型、スポーツ特化型の大型の児童館として、これまでも多くの方の利用がありましたが、感染防止のため、やむを得ず利用時間制限などの措置を行いながら開館しています。午前中は0歳児も含む乳幼児親子の姿、午後になると小学生、夕方近くになると中学生、高校生年代の子ども達の居場所となっています。(行事予定などは、西東京市児童館ホームページ掲載の毎月のおたよりをご覧ください)

### 子どもアミーゴ西東京 「私たちが目指すもの」

1. 子どもにとって安心安全な社会をつくる。
2. 子どもを含むさまざまな世代の参画をすすめ、子どもを中心においた支えあいの地域をつくる。
3. 子育ての責任を安易に家庭に押し付けず、課題を抱えた家庭が地域とつながる家庭支援を行う。
4. 地域の構成員として子どもを明確に位置づけ、社会的自立に向けた成長を支援する。
5. 子どもを社会で育てるための条件整備者としての行政の責務を明確にし、積極的に協働型の地域づくりに関わる。

### アミーゴ通信 2021年7月号

発行日：2021年7月20日

発行者：松本 毅

住所：西東京市西原町1-5-13

電話：042-478-0056

e-mail：info@kodomoamigo.org